

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsip.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长代理 (氏名) 橋本 竜毅
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3293-2961

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,265	△0.6	186	35.5	176	39.4	116	117.0
24年3月期第1四半期	4,290	8.9	137	255.1	126	330.6	53	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 101百万円 (51.1%) 24年3月期第1四半期 67百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.99	—
24年3月期第1四半期	9.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
25年3月期第1四半期	12,792		6,643		51.9	1,140.87		
24年3月期	13,189		6,629		50.3	1,138.36		

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,643百万円 24年3月期 6,629百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
第2四半期(累計)	8,300	0.7	295	37.7	265	42.9	150	95.6	25.75	
通期	18,200	1.7	860	8.2	810	10.8	453	29.6	77.78	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	7,262,020 株	24年3月期	7,262,020 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,438,567 株	24年3月期	1,438,491 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	5,823,492 株	24年3月期1Q	5,823,529 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機を巡る不確実性の高まりにより、海外景気の下振れや円高などがみられる一方で、復興需要の増加を背景として、個人消費や設備投資などに改善の兆しがみられるようになったことから、緩やかに持ち直す状況で推移いたしました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましても、こうした状況を反映し、顧客企業における販促企画の需要は堅調に推移し、前年に比べて僅かではありますが回復傾向がみられる状況となりました。

このようななか当社は、積極的な営業展開や現場の生産性向上を図るとともに、ウェブ・モバイル関連サービスの開発により、事業領域の拡大にも努めてまいりました。また、昨年度に開発した「通販・EC出荷代行サービス」「DM送付最適化サービス」などの営業強化を併せて行ってまいりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結売上高は、42億65百万円（前年同期比0.6%減）となりました。連結営業利益は、主に中元業務や通販出荷代行業務の貢献によって操業度が向上したことと、販売管理費が前年同期に比べて4百万円減少した結果、1億86百万円（同35.5%増）となりました。連結経常利益は、営業外収益が8百万円（同13.9%減）、営業外費用が18百万円（同11.6%減）となった結果、1億76百万円（同39.4%増）となりました。連結四半期純利益は、税金費用を59百万円としたことにより1億16百万円（同117.0%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、売上高は、39億54百万円（同0.9%減）と震災により延期されていた販促活動の再開需要を取り込めた前年同期に対して僅かに届かなかったものの、セグメント利益は操業度の向上によって3億円（同10.0%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は2億42百万円（同2.7%減）となりました。一方、セグメント利益は盛況に推移した一部の会員獲得プロモーションがキャンペーン業務の操業度を高めたことにより31百万円（同86.0%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は49百万円（同24.4%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期セグメント損失4百万円）となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロススタビル（東京都千代田区）等の売上高は15百万円（同191.8%増）となりましたが、固定資産税の納付によってセグメント損失は2百万円（前年同期セグメント損失11百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が3億74百万円、仕掛品が1億6百万円増加しましたが、売上債権が7億80百万円減少したことにより、全体として49億55百万円（前連結会計年度末比3億22百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産および無形固定資産が49百万円減少したことにより、全体として78億23百万円（同73百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が14百万円（同781千円減少）となりました。

その結果、資産合計では、127億92百万円（同3億96百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が47百万円、未払金が1億2百万円、未払法人税等が1億68百万円、それぞれ減少しましたが、賞与引当金が1億9百万円増加したことにより、全体として31億95百万円（同2億82百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が22百万円、長期借入金が83百万円減少したことにより、全体として29億54百万円（同1億28百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、61億49百万円（同4億11百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益1億16百万円から配当87百万円を差し引いた29百万円が前連結会計年度末に比べて増加となりました。そのほか株式市場等の下落を受けてその他有価証券評価差額金が14百万円減少（税効果分は除く）したことにより、全体として66億43百万円（同14百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月17日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,600,661	1,975,015
受取手形及び売掛金	2,917,092	2,162,036
仕掛品	220,109	326,511
立替郵送料	158,171	150,377
繰延税金資産	118,181	141,875
その他	264,117	201,796
貸倒引当金	△326	△2,483
流動資産合計	5,278,007	4,955,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,946,903	2,907,034
機械装置及び運搬具(純額)	278,632	270,996
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産(純額)	67,072	67,354
その他(純額)	63,697	61,835
有形固定資産合計	6,186,406	6,137,321
無形固定資産		
投資その他の資産	45,745	45,037
投資有価証券	421,353	398,806
投資不動産(純額)	1,003,526	994,836
繰延税金資産	—	6,725
その他	250,316	243,507
貸倒引当金	△11,069	△3,000
投資その他の資産合計	1,664,125	1,640,875
固定資産合計	7,896,278	7,823,234
繰延資産		
社債発行費	15,405	14,623
繰延資産合計	15,405	14,623
資産合計	13,189,691	12,792,987

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,774,857	1,727,763
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	525,656	510,656
リース債務	19,066	19,007
未払法人税等	265,219	96,953
賞与引当金	211,520	320,879
その他	591,255	429,742
流動負債合計	3,477,726	3,195,152
固定負債		
社債	612,700	590,125
長期借入金	1,897,702	1,813,787
リース債務	64,993	65,179
退職給付引当金	351,878	352,044
役員退職慰労引当金	68,690	51,366
繰延税金負債	9,624	4,432
再評価に係る繰延税金負債	21,332	21,332
その他	55,761	55,761
固定負債合計	3,082,682	2,954,029
負債合計	6,560,408	6,149,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,449,769	5,478,832
自己株式	△582,552	△582,582
株主資本合計	7,428,032	7,457,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,643	4,131
土地再評価差額金	△817,392	△817,392
その他の包括利益累計額合計	△798,749	△813,261
純資産合計	6,629,283	6,643,805
負債純資産合計	13,189,691	12,792,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	4,290,577	4,265,706
売上原価	3,831,616	3,762,361
売上総利益	458,960	503,345
販売費及び一般管理費	321,397	316,910
営業利益	137,563	186,435
営業外収益		
受取利息	71	58
受取配当金	6,084	6,327
雑収入	3,892	2,261
営業外収益合計	10,047	8,647
営業外費用		
支払利息	20,256	17,742
その他	702	782
営業外費用合計	20,958	18,524
経常利益	126,653	176,558
特別損失		
固定資産除却損	12	370
投資有価証券評価損	27,221	—
特別損失合計	27,234	370
税金等調整前四半期純利益	99,418	176,187
法人税、住民税及び事業税	1,338	87,347
法人税等調整額	44,429	△27,575
法人税等合計	45,768	59,771
四半期純利益	53,650	116,415

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
四半期純利益	53,650	116,415
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	13,790	△14,511
その他の包括利益合計	13,790	△14,511
四半期包括利益	67,441	101,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,441	101,904

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,991,876	249,431	39,812	5,160	4,286,279	4,297	4,290,577
セグメント間の内部 売上高又は振替高	377	1,217	—	—	1,595	30	1,625
計	3,992,253	250,648	39,812	5,160	4,287,875	4,327	4,292,202
セグメント利益又は損 失(△)	272,736	16,881	△4,608	△11,126	273,882	744	274,627

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,882
「その他」の区分の利益	744
セグメント間取引消去	△1,625
全社費用(注)	△135,439
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	137,563

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,954,373	242,557	49,545	15,058	4,261,535	4,171	4,265,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	420	937	—	—	1,358	30	1,388
計	3,954,794	243,494	49,545	15,058	4,262,893	4,201	4,267,095
セグメント利益又は損 失(△)	300,024	31,505	△2,492	△2,209	326,827	359	327,187

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,827
「その他」の区分の利益	359
セグメント間取引消去	△1,388
全社費用(注)	△139,373
棚卸資産の調整額	10
四半期連結損益計算書の営業利益	186,435

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。